

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	松本大学松商短期大学部
設置者名	学校法人松商学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通科目	学部等 共通科目	専門 科目	合計		
短期大学部	商	夜・通信	-	6	2	8	7	
	経営情報	夜・通信			2	8	7	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.matsumoto-u.ac.jp/research/experience/index_02.php#tabNav

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由) 該当なし

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	松本大学松商短期大学部
設置者名	学校法人松商学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.matsu.ac.jp/portal/biz-reports/files/h30/h30-jigyo.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
常勤	岡谷電機産業(株)代表取締役会長兼TOCキャパシタ(株)代表取締役社長 (前職) 明治大学評議員 (現職) 安田学園評議員 (現職)	平成30年6月1日～ 令和3年5月31日	経営計画の策定・組織運営体制へのチェック機能
非常勤	長野県安曇野市市議会議員・議長 (前職)	平成30年6月1日～ 令和3年5月31日	経営計画の策定
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	松本大学松商短期大学部
設置者名	学校法人松商学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画(シラバス)については、学生にとっての分かりやすさという観点や、大学改革の状況等を踏まえながら、毎年全学教務委員会で様式の見直しを行っている。例年秋頃までに検討を終え、次年度シラバス入稿の準備を整えている。</p> <p>11月中にはシラバス作成に関するFD研修会と成績評価に関するFD研修会を開催し、シラバス作成上の変更点や注意点を中心に共通理解を図り、12月初旬に翌年度の授業担当者に対して作成依頼を行う。</p> <p>シラバスの入稿の締切りを1月末頃とし、締切り後、各学部の教務委員が中心となって、第三者の立場から全学教務委員会で決定した様式に基づいて、形式をはじめ必要事項がきちんと記載されているか、表現の統一等点検を行う。</p> <p>授業担当者へのフィードバック、修正依頼を経て、3月中旬に下記Webサイト上に公表している。</p>	
授業計画書の公表方法	http://portal.matsu.ac.jp/mfufg_c2/bin/MFUFUG00000P.html
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>成績評価は、学則第26条に次のように記載し、厳格かつ適正に実施している。</p> <p>第26条 成績評価は、S(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(不可)をもって表し、S(秀)、A(優)、B(良)、C(可)を合格、D(不可)を不合格とする。</p> <p>2 成績評価と100点法による素点との関係については、以下のとおりとする。</p> <p>(1) S(秀) 100点～90点</p> <p>(2) A(優) 89点～80点</p> <p>(3) B(良) 79点～70点</p> <p>(4) C(可) 69点～60点</p> <p>(5) D(不可) 59点～0点</p> <p>3 第1項の成績評価による学修成果を総合的に判断する指標として、GPA(Grade Point Average)を用いることができる。</p> <p>4 第1項の規定にかかわらず、Pは合格として所定の単位を与え、Fは不合格とすることができる。</p> <p>5 第1項の規定にかかわらず、本学以外で修得した単位を、本学において修得したものとみなし、Nとして所定の単位を与えることができる。</p> <p>全学的に成績評価の方法・基準を科目レベルで定め、シラバスに明示して公表している。各科目担当者は、あらかじめ設定した成績評価の方法・基準に基づいて、試験やレポート、受講態度等を適正に評価し、厳格かつ適正に単位認定を行っている。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

学則第25条3項に、学修成果を総合的に判断する指標としてGPAを用いることを明示している。

GPAの具体的な実施方法については履修規程に次のように定めている。

第22条 学則第25条第3項に基づいて、学修成果を総合的に判断する指標として、GPA (Grade Point Average) を用いる。

2 GPAは、学生の各履修科目の成績評点に、その科目の単位数をかけた数値の合計を、履修科目の総単位数で除して算出し、小数点第3位以下は四捨五入する。

3 成績評価に対する評価換算基準は、次のとおりとする。

成績評価記号		ポイント数
S (秀)		4
A (優)		3
B (良)		2
C (可)		1
D (不可)	R (出席不足)	0
	J (受験せず)	

4 GPAの対象外とする科目は別に定める。

5 学則第25条第4項に基づいて、所定の単位認定をしたもの(成績評価記号P及びF)は、GPAの算出対象としない。

6 学則第25条第5項に基づいて、本学以外で修得した単位を、本学において修得したものとみなし認定したもの(成績評価記号N)は、GPAの算出対象としない。

7 再履修する授業科目のGPAの計算については、不合格であった成績(成績評価と単位数)は再履修して修得した成績(成績評価と単位数)で計算する。再履修前の成績(成績評価と単位数)は、GPAの計算に含めない。

各科目担当者は学則並びに履修規程に基づき、厳格な成績評価を行っている。また成績評価に基づいて、適切にGPAを算出している。なお、GPAの算出方法は全学生に配布する「学生便覧」に掲載するとともに、下記Webサイトにおいて公表している。GPAの成績分布状況は、学生による「授業評価アンケート」結果に併せて記載し、適切に把握するとともに、学生にも公表している。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

https://www.matsumoto-u.ac.jp/introduction/information/data/04/2019_seisekihyoka_j.pdf

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

卒業の認定方針及び卒業の要件は、各学部・各学科で次のように定め、学生に配布する「学生便覧」、「履修登録の手引き」の他、Web サイト上においても公表している。

【ディプロマ・ポリシー】

松本大学松商短期大学部は、建学の精神である“自主独立”の精神の上に立ち、“共同・共生”（相互の価値を認め、個々の能力を発揮し、力を合わせてともに生きる精神），“創意・創造”（常に現状を革新し、より高い価値を作り出す能力），“献身・貢献”（自分を活かし、社会や人のために役立つ感性と行動力）の3つを教育理念としており、短期大学士としての知性を深め、情操を高め、健やかな心身を育み、職業人としての良識を養うことによって地域社会に貢献できる人材育成を目指している。したがって、その教育目標は、「地域社会の経営と発展に貢献できる、教養豊かな中核的人材の育成」であり、各学科の教育目標は、商学科にあっては「現代社会の経済システムを動かしている企業や個人のビジネスを理解し、ビジネス社会で活躍する人材の育成を目指して、経済・金融・流通・会計の理論・技法を学ぶこと」、また、経営情報学科にあっては「現代社会の企業経営を支えている経営理論と情報システムを理解し、中堅企業人として活躍できる人材の育成を目指して、企業経営と情報システムの理論・技法を学ぶこと」である。

このような教育目標を達成するために、本学の教育は、地域経済の発展に資する商学・経営情報学という専門教育、豊かな人格形成とともに地域社会を改善していく知性と能力を育む教養教育、一人ひとりの個性を活かして職業人としての自立を促すキャリア教育、の3つの教育が有機的に結びつきながら展開されている。したがって、学位授与は、卒業要件単位の修得を通して、専門教育、教養教育、キャリア教育の各領域において、短期大学士としての知識や技能・能力を修得し、“自主独立”の態度を十分身に付けた学生に対して、短期大学士（商学・経営情報学）の学位が授与される。

【卒業要件】

- ①必修科目 20 単位を全て修得すること。
- ②語学系選択必修科目から 2 単位以上、経済経営系選択必修科目から 8 単位以上の合計 10 単位以上を修得すること。
- ③教養系フィールドの中から 10 単位以上を修得すること。
- ④上記①～③の条件を全て満たし、合計 62 単位以上修得すること。

【卒業判定手順】

上記の規定に基づいて教務委員会で卒業要件を確認して原案を作成する。

3 月初旬に教授会構成員による「卒業判定会議」を開催、原案に基づいて個々の学生の修得単位の状況及び学修成果を確認の上、卒業判定を行い、その結果を学長に上申する。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

<https://www.matsumoto-u.ac.jp/faculty/junior/policy/>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	松本大学松商短期大学部
設置者名	学校法人松商学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.matsumoto-u.ac.jp/introduction/information/data/11/2018_data02.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.matsumoto-u.ac.jp/introduction/information/data/11/2018_data04.pdf
財産目録	https://www.matsumoto-u.ac.jp/introduction/information/data/11/2018_data01.pdf
事業報告書	https://www.matsumoto-u.ac.jp/introduction/information/data/11/2018_data05.pdf
監事による監査報告(書)	https://www.matsumoto-u.ac.jp/introduction/information/data/11/2018_data06.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:松本大学・松本大学松商短期大学部 2019年度事業計画 対象年度:2019年度)
公表方法: https://www.matsumoto-u.ac.jp/introduction/information/data/14/2019jigyokeikaku.pdf
中長期計画(名称:第2次中期目標・計画 対象年度:2018年度~2022年度)
公表方法: https://www.matsumoto-u.ac.jp/introduction/data/2018tyutyokiplan.pdf

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.matsumoto-u.ac.jp/introduction/information/data/12/2017_inspection_report.pdf

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: https://www.matsumoto-u.ac.jp/introduction/information/data/10/accredited2015j.pdf

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 松商短期大学部
教育研究上の目的 (公表方法: https://www.matsumoto-u.ac.jp/faculty/business/) (概要) 本短期大学部は学則第 2 条の規定に則り、「個性豊かな人材」、「地域社会に貢献している人材」、「職業的に自立した人材」の育成を目指す。 商学科においては、現代社会の経済システムを動かしている企業や人間のビジネスを理解し、ビジネス社会で活躍する人材の育成を目指して、経済・金融・流通・会計の理論・技法を学ぶことを目的とする。 経営情報学科においては、現代社会の企業経営を支えている経営理論と情報システムを理解し、中堅企業人として活躍できる人材育成を目指して、企業経営と情報処理の理論・技法を学ぶことを目的とする。
卒業の認定に関する方針 (公表方法: https://www.matsumoto-u.ac.jp/faculty/business/policy/) (概要) 本学の教育は、地域経済の発展に資する商学・経営情報学という専門教育、豊かな人格形成とともに地域社会を改善していく知性と能力を育む教養教育、一人ひとりの個性を活かして職業人としての自立を促すキャリア教育、の 3 つの教育が有機的に結びつきながら展開されている。したがって、学位授与は、卒業要件単位の修得を通して、専門教育、教養教育、キャリア教育の各領域において、短期大学士としての知識や技能・能力を修得し、“自主独立”の態度を十分身に付けた学生に対して、短期大学士(商学・経営情報学)の学位が授与される。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法: https://www.matsumoto-u.ac.jp/faculty/business/policy/) (概要) 本学では、“理論と実践の両立”と“体験による知識の定着”を重視しており、商学・経営情報学という専門教育における知識・技能の修得に加えて、結婚・子育て・介護等のライフステージに対応した体験型教養教育による人生観の醸成、さらには産学連携のキャリア教育による職業意識の形成などの面で、地域社会や地域企業との連携によるプログラムも多数用意されている。このように、本学では、地域連携による“地域の教育力”を活かした体験型の実践教育を通して、各学科の専門知識・技能を活かして職業的に自立した人材の育成を図るとともに、地域社会と積極的に関わり、地域社会を改善することのできる総合的な能力を身につけた人材の育成をも意図したカリキュラム編成をとっている。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法: https://www.matsumoto-u.ac.jp/faculty/business/policy/) (概要) 本学の理念および学科理念を理解したうえで、明確な目的意識と修学意欲を持って、自己の能力向上を強く希望する人を求める。具体的には、建学の精神である「自主独立」と本学の教育目標を理解し、「幸せな地域社会づくり」への貢献を目指して、職業人として地域社会を支える中核的人材となるための高い教養と技術・資格を身につけたい人を求める。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法: https://www.matsumoto-u.ac.jp/introduction/information/information_01.php

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					1人
商	—	6人	2人	1人	0人	0人	9人
経営情報	—	3人	4人	0人	0人	0人	7人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		24人					24人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： https://www.acoffice.jp/matuhp/KgApp					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
<p>松本大学FD・SD委員会規程に基づいてFD・SD委員会を設置し、教育の質的向上に関する施策の企画・立案及び実施を行っている。計画に基づいたFD研修会等の実施の他、新任教員の研修会、各種講演会の開催も担当している。</p> <p>また、FD・SD委員会での検討に基づいて、授業評価アンケート（中間・期末）、教員相互の授業参観、卒業生アンケートを毎年実施している。</p>							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
商	100人	101人	101%	200人	213人	107%	—人	—人
経営情報	100人	104人	104%	200人	215人	108%	—人	—人
合計	200人	205人	103%	400人	428人	107%	—人	—人
(備考) 2019年度入学生状況								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
商	98人 (100%)	3人 (3.1%)	87人 (88.8%)	8人 (8.2%)
経営情報	101人 (100%)	3人 (3.0%)	96人 (95.0%)	2人 (2.0%)
合計	199人 (100%)	6人 (3.0%)	183人 (92.0%)	10人 (5.0%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
<p>進学先：松本大学、東京経済大学 就職先：(株)ツルヤ、(株)国興、長野県信用組合、諏訪信用金庫、アルプス中央信用金庫、信州諏訪農業協同組合、上伊那農業協同組合、(株)一真堂、(株)八十二銀行、セイコーエプソン(株)、セキスイハイム信越(株)、東洋計器(株)、長野オリンパス(株)、ダイワボウ情報システム(株)、(株)マルニシ、(株)アステック信州、松本ハイランド農業協同組合</p>				

(備考)
2018 年度卒業生の状況

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）

学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
商	106人 (100%)	96人 (90.6%)	4人 (3.8%)	6人 (5.7%)	0人 (%)
経営情報	115人 (100%)	101人 (87.8%)	5人 (4.3%)	9人 (7.8%)	0人 (%)
合計	221人 (100%)	197人 (89.1%)	9人 (4.1%)	15人 (6.8%)	0人 (%)

(備考)
2017 年度入学者の状況

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
授業計画（シラバス）については、学生にとっての分かりやすさという観点や、大学改革の状況等を踏まえながら、毎年全学教務委員会で様式の見直しを行っている。例年秋頃までに検討を終え、次年度シラバス入稿の準備を整えている。
11 月中にはシラバス作成に関する FD 研修会を開催し、変更点や注意点を中心に共通理解を図り、12 月初旬に翌年度の授業担当者に対して作成依頼を行う。
シラバスの入稿の締切りを 1 月末頃とし、締切り後、各学部の教務委員が中心となって、第三者の立場から全学教務委員会で決定した様式に基づいて、形式をはじめ必要事項がきちんと記載されているか、表現の統一等点検を行う。
授業担当者へのフィードバック、修正依頼を経て、3 月中旬に Web サイト上に公表している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)
卒業の認定方針及び卒業の要件は、各学部・各学科で次のように定め、学生に配布する「学生便覧」の他、Web サイト上においても公表している。
松本大学松商短期大学部は、建学の精神である“自主独立”の精神の上に立ち、“共同・共生”（相互の価値を認め、個々の能力を発揮し、力を合わせてともに生きる精神）、“創意・創造”（常に現状を革新し、より高い価値を作り出す能力）、“献身・貢献”（自分を活かし、社会や人のために役立つ感性と行動力）の 3 つを教育理念としており、短期大学士としての知性を深め、情操を高め、健やかな心身を育み、職業人としての良識を養うことによって地域社会に貢献できる人材育成を目指している。したがって、その教育目標は、「地域社会の経営と発展に貢献できる、教養豊かな中核的人材の育成」であり、各学科の教育目標は、商学科にあつては「現代社会の経済システムを動かしている企業や個人のビジネスを理解し、ビジネス社会で活躍する人材の育成を目指して、経済・金融・流通・会計の理論・技法を学ぶこと」、また、経営情報学科にあつては「現代社会の企業経営を支えている経営理論と情報システムを理解し、中堅企業人として活躍できる人材の育成を目指して、企業経営と情報システムの理論・技法を学ぶこと」である。
このような教育目標を達成するために、本学の教育は、地域経済の発展に資する商学・経営情報学という専門教育、豊かな人格形成とともに地域社会を改善していく知性と能力を育む教養教育、一人ひとりの個性を活かして職業人としての自立を促すキャリア教育、の 3 つの教育が有機的に結びつきながら展開されている。したがって、学位授与は、卒業要件単位の修得を通して、専門教育、教養教育、キャリア教育の各領域において、短期大学士とし

ての知識や技能・能力を修得し、“自主独立”の態度を十分身に付けた学生に対して、短期大学士（商学・経営情報学）の学位が授与される。 ・卒業要件 ①62単位以上の単位を修得すること。 ②全ての必修科目の単位を修得していること。 ③オプション・フィールド（教養科目フィールド）に含まれている科目から10単位以上修得していること。オプション・フィールド（教養科目フィールド）とは、「医療事務」「図書館司書」「ファッションビジネス」「芸術と文化」「ブライダル」「心とこども」「福祉・介護」「スポーツ・健康」の8つのフィールドをいう。				
学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
短期大学部	商	62単位	有・無	45単位
	経営情報	62単位	有・無	45単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法： https://www.matsumoto-u.ac.jp/introduction/information/data/04/2019_seisekihyoka_j.pdf		
学生の学修状況に係る参考情報（任意記載事項）		公表方法： https://www.matsumoto-u.ac.jp/introduction/information/data/04/2017_behaviorsurvey_t.pdf		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<https://www.matsumoto-u.ac.jp/introduction/guide/campusmap/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
短期大学部	商	730,000円	250,000円	230,000円	
	経営情報	730,000円	250,000円	230,000円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

<p>a. 学生の修学に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>教務課：各学部を担当する職員を配置し、学生の履修相談等、正課の授業に関する支援を行っている。資格取得支援担当も配置し、資格取得に関する支援・相談にも対応している。</p> <p>学生課：部活動や学友会活動をはじめとする、学生生活全般について支援を行っている。各種奨学金の情報提供や相談にも応じている。</p> <p>図書館：約11万冊の蔵書を持ち、学生の学修・研究の支援を行っている。視聴覚コーナーや個人・グループ学習用の専用スペースも設置している。</p> <p>情報センター：職員4名が常駐し、学内の情報機器全般について管理運営をしている。パソコンの購入相談、故障時のトラブル対応を行っている。</p> <p>国際交流センター：職員1名が常駐し、学生の短期・長期の海外留学支援及び外国人留学生の生活支援を行っている。</p> <p>基礎教育センター：基礎学力の向上、就職試験に向けた実力養成など、一人ひとりの目標に合わせて学べるよう基礎教育センターを設置している。専門員が常駐し、授業の合間や放課後にグループ学修や個別指導に対応している。</p> <p>地域づくり考房『ゆめ』：学生が正課外で行う、地域での実践的な活動を支援している。職員3名が常駐して、地域と学生を結ぶ役割を果たしている。</p>

b. 進路選択に係る支援に関する取組

(概要)

キャリアセンターを設置し、学生の就職活動支援を中心に支援を行っている。キャリアセンターでは、就職のみならず、大学院進学情報の提供や相談にも応じている。

<https://www.matsumoto-u.ac.jp/introduction/support/career/>

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要)

健康安全センターを設置している。保健師が常駐し、学内でのケガや急病、体調不良に対する応急処置を施している。また身体や心の健康に関するさまざまな相談にもカウンセリングルームを設置し対応している。

<https://www.matsumoto-u.ac.jp/introduction/support/health/>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<https://www.matsumoto-u.ac.jp/research/>